

製品名: VEGF-D ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19775**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	35kDa

抗原情報

遺伝子名	FIGF
別名	FIGF; VEGFD; Vascular endothelial growth factor D; VEGF-D; c-Fos-induced growth factor; FIGF
遺伝子 ID	2277.0
SwissProt ID	O43915
免疫原	抗血清はヒト VEGF-D 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 153-202

背景

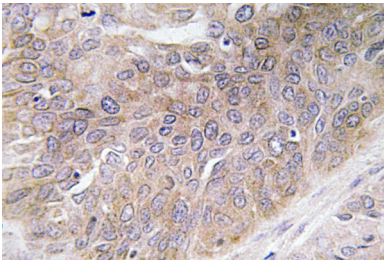
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、血小板由来増殖因子/血管内皮増殖因子 (PDGF/VEGF) ファミリーのメンバーである。

り、血管新生、リンパ管新生、および内皮細胞の増殖に活性を示します。分泌されたこのタンパク質は複雑なタンパク質分解による成熟を経て、VEGFR-2 および VEGFR-3 受容体に結合し活性化する複数の処理型を生成します。このタンパク質は、血管内皮増殖因子 C と構造的および機能的に類似しています。この遺伝子座と上流の PIR (GeneID 8544) 遺伝子座の間では、リードスルー転写が観察されています。[RefSeq 提供、2011 年 2 月]、機能: 血管新生、リンパ管新生、および内皮細胞の増殖に活性な増殖因子。これらの細胞の増殖と遊走を刺激し、血管の透過性にも影響を及ぼします。胚発生中の静脈およびリンパ管系の形成、および成人における分化したリンパ管内皮の維持に機能する可能性がある。VEGFR-2 (Flk1) および VEGFR-3 (Flt4) 受容体に結合して活性化する。、PTM: 複雑なタンパク質分解成熟を経て、VEGFR-3 および VEGFR-2 に対する活性が増大した、さまざまな処理済み分泌型を生成する。VEGF-D は、分泌前にまずジスルフィド結合で連結された逆平行ホモ二量体を形成する。完全に処理された VEGF-D は、主に非共有結合性相互作用で連結された 2 つの VEGF 相同ドメイン (VHD) で構成される。、類似性: PDGF/VEGF 成長因子ファミリーに属します。、サブユニット: ホモ二量体;非共有結合性かつ逆平行性。組織特異性: 肺、心臓、小腸、胎児の肺で高発現し、骨格筋、結腸、膵臓では低レベルで発現する。

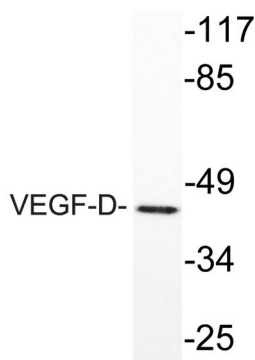
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用、mTOR、接着斑、がんの経路、腎細胞癌、膵臓癌、膀胱癌

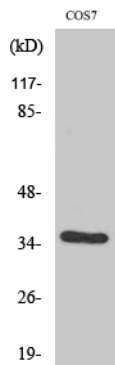
画像データ



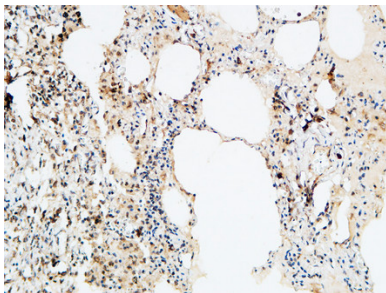
パラフィン包埋ヒト肺癌組織における VEGF-D 抗体の免疫組織化学分析。



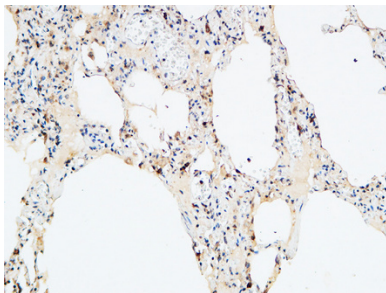
VEGF-D 抗体を使用した COS-7 細胞の溶解液のウエスタン ブロット分析。



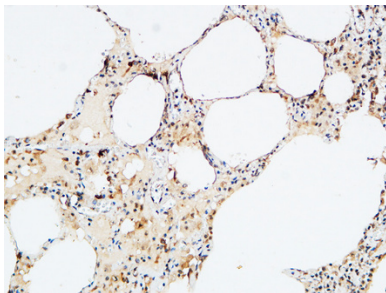
VEGF-D ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



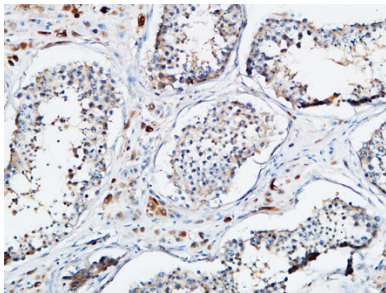
パラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



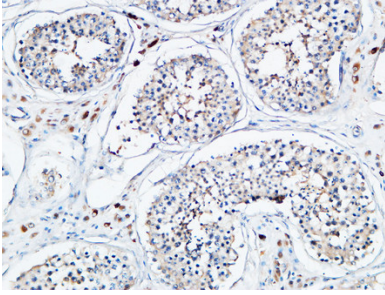
パラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



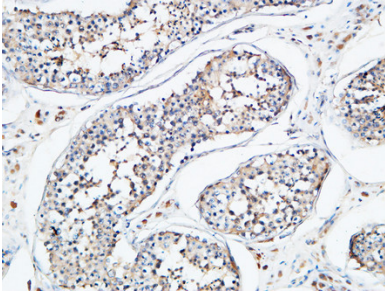
パラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト胎盤の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



パラフィン包埋ヒト精巣の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。